



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 成川 敦  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・ガバナンス統括部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	27,894	27.6	139	—	102	—	△183	—
2022年3月期第1四半期	21,860	18.3	△511	—	△345	—	△857	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,322百万円 (1,545.0%) 2022年3月期第1四半期 202百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△8.26	—
2022年3月期第1四半期	△38.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	95,793	54,965	52.7	2,277.13
2022年3月期	86,148	51,632	54.7	2,125.72

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 50,520百万円 2022年3月期 47,163百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	0.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	10.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	9.8	500	—	500	—	300	—	13.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	25,000,000株	2022年3月期	25,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,813,993株	2022年3月期	2,812,993株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	22,186,109株	2022年3月期1Q	22,246,553株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う国際商品価格の高騰、先進諸国でのインフレ加速や欧米での急速な政策金利の引き上げに伴う金融資本市場及び為替の混乱、中国での経済活動抑制の影響等、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが注力する自動車関連市場では、半導体不足の継続に加え、ウクライナ情勢や中国ゼロコロナ政策、米国での急激なインフレ進行等による世界的な景気停滞等により需給両面で不安定な状況が続き、自動車生産台数・新車販売台数が下振れする状況が続きました。

こうした中、当社グループは自動車メーカーとの連携強化により需要予測の精度を高め最適な生産体制を保持すべく努めました。また、原材料費・部材費の高騰や国際物流運賃の高止まりに対しては、継続的な原価改善、固定費削減施策及び価格転嫁を推進しました。特に価格転嫁に関しましては多くのお客様からご理解をいただきました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、27,894百万円(前年同期比27.6%増)の増収となりました。損益面では、営業利益が139百万円(前年同期は営業損失511百万円)、経常利益が102百万円(前年同期は経常損失345百万円)となり、四半期ベースでは2021年3月期の第3四半期以来の営業・経常黒字となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純損失は、生産体制の最適化に即した中国・豊達電機(南寧)有限公司の操業停止に伴い特別退職金253百万円を計上したことから、183百万円(前年同期は四半期純損失857百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### [スピーカー事業]

自動車関連市場を取り巻く環境が厳しい中、出荷数量の増加や円安効果から、売上高は22,804百万円(前年同期比37.8%増)となりました。損益面では、韓国の連結子会社(12月決算)が年初にも空輸費用の影響で7億円余りの赤字を計上したものの、原価改善、固定費削減及び価格転嫁の推進により、全体としては営業損失が156百万円(前年同期は営業損失279百万円)と赤字幅が縮小しました。

※韓国連結子会社は12月決算のため、当社グループの当第1四半期連結累計期間には2022年1月～3月を連結対象としています。

#### [モバイルオーディオ事業]

民生用アクチュエータや車載用ヘッドホンは、計画通りの出荷となりましたが、スマートフォン同梱用ヘッドセットの販売が減少したことから、売上高は3,213百万円(前年同期比8.4%減)となりました。一方、損益面では、付加価値の高い製品への注力に加え、研究開発型ビジネスの導入・推進に伴い、営業利益は、113百万円(前年同期は営業損失323百万円)と黒字基調で推移しています。

#### [その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、昨年中国に設立した子会社(广州富星電声科技股份有限公司)の当社グループへの部品売上高が増加(連結上は消去されます。)したことから、売上高は2,545百万円(前年同期比30.7%増)となりました。営業利益は、引き続き好調な小型音響部品事業に加えてフォステクス製品に係る在庫評価が一時的に上昇したことから、182百万円(前年同期比98.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に受取手形及び売掛金と棚卸資産の増加により前連結会計年度末に比べ9,644百万円増加して95,793百万円となりました。負債は、主に短期借入金の増加により前連結会計年度末に比べ6,311百万円増加して40,828百万円となりました。純資産は、主に為替換算調整勘定の増加により前連結会計年度末に比べ3,333百万円増加して54,965百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比2.0ポイント減の52.7%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより11,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ781百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、棚卸資産等の増加により5,612百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により824百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金等の増加により4,964百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2022年5月16日の決算短信で公表しました通期業績予想に変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純損失が7,017百万円、純資産の部が51,632百万円、連結貸借対照表に記載される為替換算調整勘定による調整前の純資産が48,014百万円となりました。この結果、金融機関との間で契約しているコミットメントライン契約に定められている財務制限条項に抵触する状況が発生しました。また、当第1四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純損失が183百万円計上となり、その結果、連結貸借対照表に記載される為替換算調整勘定による調整前の純資産が47,723百万円となっております。

以上の状況から、当第1四半期連結累計期間においても、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。しかしながら、前連結会計年度における財務制限条項の抵触に関しては、金融機関に対し期限の利益喪失に関わる条項を適用することなく契約を継続するよう要請した結果、すべての金融機関からは、期限の利益喪失事由の発生により貸付人が取得した契約上の借入人としての当社に対する権利を放棄することについて了承を得ております。また、収益面においては、原材料費・部材費の高騰や物流コストの上昇に対し、市況に応じた「市場連動制」の導入等による対応策が着実に進展しており、今後は収益改善が見込まれます。また当第1四半期末の自己資本比率は52.7%と一般的に安全性に問題がない水準にあります。

したがって、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,846	11,422
受取手形及び売掛金	19,001	22,752
電子記録債権	350	380
有価証券	2,343	984
製品	18,413	20,654
原材料	10,355	11,642
仕掛品	1,578	1,648
貯蔵品	108	104
未収入金	1,170	1,541
前渡金	859	2,563
その他	2,202	2,096
貸倒引当金	△86	△98
流動資産合計	67,143	75,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,863	7,222
機械装置及び運搬具(純額)	4,655	4,970
工具、器具及び備品(純額)	1,788	1,949
土地	1,521	1,627
建設仮勘定	785	870
有形固定資産合計	15,614	16,640
無形固定資産		
ソフトウェア	80	88
その他	122	127
無形固定資産合計	203	216
投資その他の資産		
投資有価証券	1,306	1,244
長期前払費用	82	73
退職給付に係る資産	880	842
繰延税金資産	637	752
その他	280	328
投資その他の資産合計	3,187	3,241
固定資産合計	19,005	20,098
資産合計	86,148	95,793

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,179	12,327
短期借入金	12,247	18,935
1年内返済予定の長期借入金	818	725
未払金	3,861	3,111
未払法人税等	630	430
未払費用	2,848	2,214
賞与引当金	398	350
その他	903	1,238
流動負債合計	32,889	39,332
固定負債		
長期借入金	300	150
繰延税金負債	475	469
退職給付に係る負債	60	70
役員退職慰労引当金	20	21
株式給付引当金	163	171
資産除去債務	281	282
その他	325	330
固定負債合計	1,627	1,495
負債合計	34,516	40,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,896	6,896
利益剰余金	33,906	33,723
自己株式	△4,163	△4,163
株主資本合計	43,409	43,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	323	245
為替換算調整勘定	3,617	7,242
退職給付に係る調整累計額	△187	△193
その他の包括利益累計額合計	3,753	7,293
非支配株主持分	4,469	4,445
純資産合計	51,632	54,965
負債純資産合計	86,148	95,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	21,860	27,894
売上原価	19,213	24,141
売上総利益	2,647	3,752
販売費及び一般管理費	3,158	3,612
営業利益又は営業損失(△)	△511	139
営業外収益		
受取利息	16	22
受取配当金	8	13
補助金収入	61	27
為替差益	82	—
雑収入	59	53
営業外収益合計	228	116
営業外費用		
支払利息	20	62
為替差損	—	47
雑損失	42	44
営業外費用合計	63	153
経常利益又は経常損失(△)	△345	102
特別損失		
特別退職金	324	253
特別損失合計	324	253
税金等調整前四半期純損失(△)	△669	△150
法人税、住民税及び事業税	106	312
法人税等調整額	△29	△63
法人税等合計	76	249
四半期純損失(△)	△746	△399
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	110	△216
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△857	△183

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△746	△399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△77
為替換算調整勘定	855	3,810
退職給付に係る調整額	87	△9
その他の包括利益合計	948	3,722
四半期包括利益	202	3,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△185	3,357
非支配株主に係る四半期包括利益	387	△34

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△669	△150
減価償却費	763	875
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△85	42
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△59	△59
補助金収入	△61	△27
特別退職金	324	253
受取利息及び受取配当金	△25	△36
支払利息	20	62
為替差損益(△は益)	51	705
売上債権の増減額(△は増加)	391	△2,681
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,348	△1,557
仕入債務の増減額(△は減少)	232	324
未収入金の増減額(△は増加)	97	△306
未払金の増減額(△は減少)	△204	△951
前渡金の増減額(△は増加)	△235	△1,552
その他	631	103
小計	△2,165	△4,947
利息及び配当金の受取額	25	36
利息の支払額	△20	△62
補助金の受取額	61	27
特別退職金の支払額	△181	△85
法人税等の支払額	△71	△581
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,351	△5,612
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△186	—
有価証券の償還による収入	624	48
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△575	△808
無形固定資産の取得による支出	△73	△9
長期前払費用の取得による支出	△6	△12
その他	△11	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△228	△824
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,129	5,208
長期借入金の返済による支出	△243	△243
配当金の支払額	△111	—
非支配株主への配当金の支払額	△116	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	658	4,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	201	691
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,720	△781
現金及び現金同等物の期首残高	20,373	12,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,653	11,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,553	3,508	1,798	21,860	—	21,860
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	149	149	△149	—
計	16,553	3,508	1,947	22,009	△149	21,860
セグメント利益又は損失 (△)	△279	△323	91	△511	△0	△511

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	22,804	3,213	1,875	27,894	—	27,894
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	669	669	△669	—
計	22,804	3,213	2,545	28,564	△669	27,894
セグメント利益又は損失 (△)	△156	113	182	139	△0	139

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。